

<p>【技術の名称】 キャップ式いちいち基礎工法 ーキャップ鋼管を杭頭部に被せて柱と杭を一体化させる基礎工法ー (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第06-03号 改2 性能証明発効日：2020年3月3日</p> <p>【取得者】 J F Eシビル株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄骨柱またはコンクリート充填鋼管(CFT)柱の柱脚部に接合したベースプレートと鋼管で構成されたキャップ鋼管を、鋼管杭または既製コンクリート杭の頭部に被せ、その隙間にコンクリートを充填し、柱と杭を一体化させた接合部(以下、柱ー杭接合部と略記)を構築する工法である。本工法によると、従来のフーチングをなくし、上部構造と杭基礎構造を力学的に明快地接合でき、かつ現場施工の合理化を図ることができる。

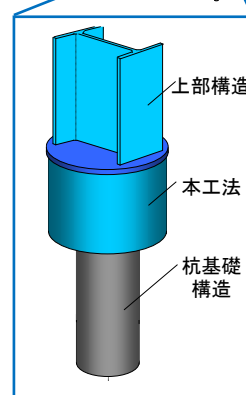
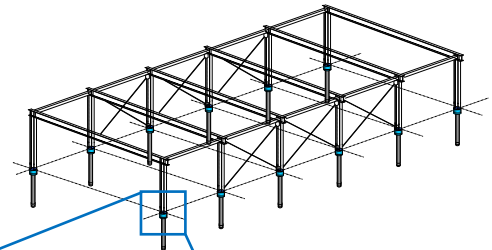


図1 キャップ式いちいち基礎工法の概要図および写真

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第06-03号 (2006年5月9日)
 改定1：GBRC 性能証明 第06-03号 改 (2013年5月28日)
- ・キャップ鋼管と杭外径の寸法差 (Dc-Dp) を150mm～300mm から150mm～400mm とする。
 - ・杭埋込長さを1.5×杭径以上から、1.5×杭径かつ1.5×(Dc-Dp) 以上とする。
 - ・適用する既製杭にSC杭を追加する。
 - ・適用するベースプレート鋼種にHBL355B, C (大臣認定品) を追加する。
- 改定2：GBRC 性能証明 第06-03号 改2 (2020年3月3日)
- ・適用する杭外径Dpを100mm～700mmから100mm～1000mmとする。
 - ・適用するキャップ鋼管外形Dcを1000mm以下から1400mm以下とする。
 - ・適用するベースプレート鋼種にTMCP325B, C, TMCP355B, C (大臣認定品) を追加する。

【技術開発の趣旨】

従来工法による杭とフーチングの接合部については、施工品質の確保が難しいことと相俟って、設計で保証すべき耐力と剛性を確実に実現するためのディテールが必ずしも明らかでない。本工法は、これらの問題の解消を意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「キャップ式いちいち基礎工法 設計指針」および「キャップ式いちいち基礎工法 施工指針」に従って設計・施工された柱ー杭接合部は、同設計指針で規定する長期荷重時および短期荷重時の構造性能を有し、同設計指針で定める終局耐力および変形性能を有する。また、同接合部の回転剛性は、同設計指針で提示している方法によって評価できる。

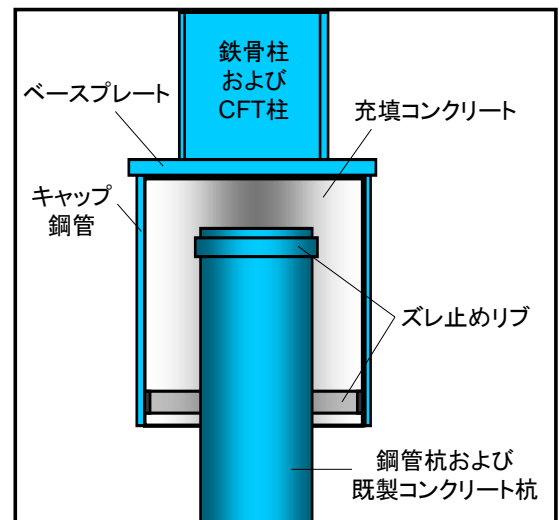


図2 キャップ式いちいち基礎工法詳細図

【本技術の問い合わせ先】

J F Eシビル株式会社 担当者：池田 辰弥 E-mail：ikedata-tatsuya@jfe-civil.com
 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号 J F E蔵前ビル5階 TEL：03-3864-3580 FAX：03-3864-5844